

米原市第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）【概要版】

少子高齢化（若年層の激減）
2050年に、65歳以上人口は40%→全世代型の社会保障へシフトする必要性

社会保障と税の一体改革（H24）

【医療費適正化】 【健康寿命の延伸】

国民皆保険を守る 医療費をなるべく必要としない、“地域の体質づくり”

予防可能な疾患の発症・重症化予防

【経済財政諮問会議】

日本再興戦略（H25）→未来投資戦略（H29.6）

（医療・介護提供体制適正化、インセンティブ改革、公的産業の民営化（データヘルス、見える化）

データヘルスを医療保険各法で明確化（告示→法制化へ）

データヘルス計画
（保健事業実施計画）

社会保障制度改革推進法

【国民健康保険法】
保健事業実施指針改正
（H28 大臣告示）

医療保険制度改革関連法
持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律（平成27年5月成立）

◎国保制度改革（H30～本格実施）

- 後期高齢者支援金の全面総報酬割導入（H29～）
- 負担の公平化（入院時食事代等）（H28～）
- その他（協会けんぽ国庫補助率措置等）（H28～）

国保の状況

	H25	H28
国保被保険者数	9,206人	8,454人
65～74歳割合	41.8%	46.9%
医療費		
総医療費	25億5,459万円	25億7,487万円
1人当たり医療費(入院)	10,470円	10,502円
1人当たり医療費(外来)	12,477円	14,023円

図表5-1(P.8-9)、図表5-2、5-3(P.10)

参考：介護保険と後期高齢者医療の状況(費用)

	H25	H28	
介護保険	1件当たり給付額	59,929円	57,175円
	1号認定者数(率)	2,011人(20.2%)	2,027人(20.0%)
	新規認定者数(率)	318人(0.3%)	338人(0.4%)
	2号認定者数(率)	38人(0.3%)	33人(0.3%)
後期高齢者医療	被保険者数	5,908人	6,065人
	総医療費(医科のみ)	39億9,291万円	44億842万円
	1人当たり医療費/月(入院)	28,790円	29,871円
	1人当たり医療費/月(外来)	27,554円	31,119円

図表5-6、5-7(P.13)

総医療費に占める中長期目標疾患の費用額

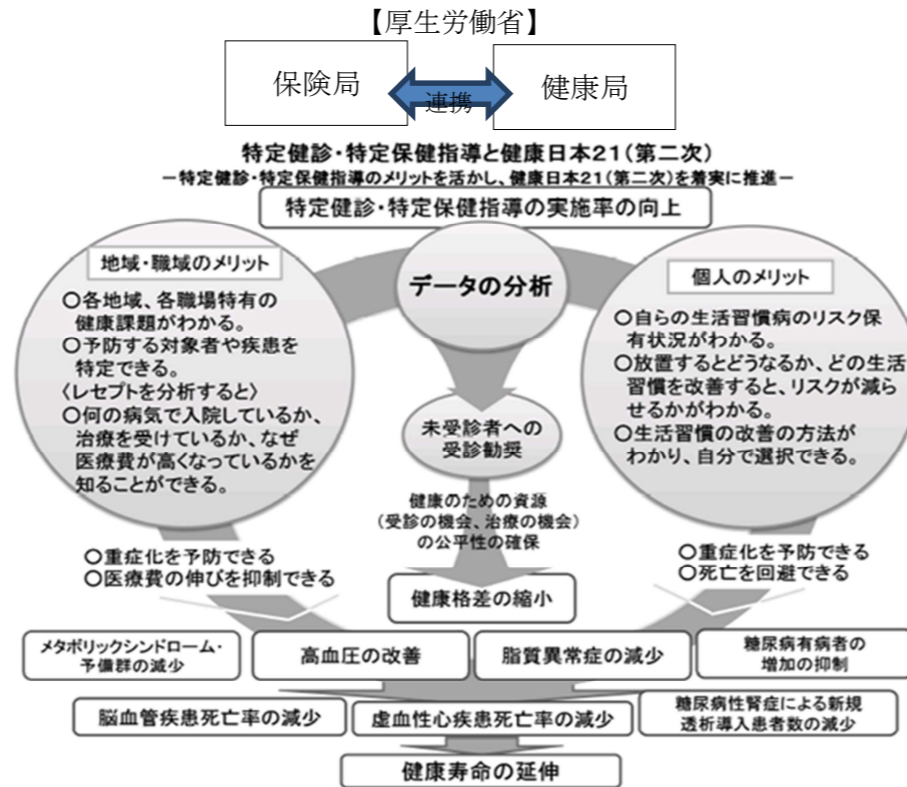
年度	市町名	生活習慣病の重症化(中長期目標疾患)							
		腎				脳		心	
		透折あり	透折なし	脳梗塞・脳出血	狭心症・心筋梗塞	費用額	割合	費用額	割合
H25	米原市	1億874万円	4.2%	1,451万円	0.6%	6,521万円	2.5%	9,857万円	3.8%
H28	米原市	1億774万円	4.2%	2,374万円	0.9%	6,962万円	2.7%	8,836万円	3.4%
H28	国	5,224億8,691万円	5.4%	337億8,808万円	0.4%	2,153億778万円	2.2%	1974億3,912万円	2.0%

図表5-4(P.12)

総医療費に占める短期目標疾患の費用額

年度	市町名	生活習慣病(短期目標疾患)					
		糖尿病		高血圧		脂質異常症	
		費用額	割合	費用額	割合	費用額	割合
H25	米原市	1億1,729万円	4.6%	1億3,716万円	5.3%	8,012万円	3.1%
H28	米原市	1億1,707万円	4.6%	1億1,205万円	4.4%	7,347万円	2.9%
H28	国	5,227億8,468万円	5.4%	4,599億1,531万円	4.8%	2,853億3,364万円	3.0%

図表5-4(P.12)



保険者努力支援制度の創設

【保険者努力支援制度】平成28年度結果(平成26年度実績値)

評価指標	H25	H28	加点	得点
特定健診受診率	47.1% (6位/19市町)	45.6% (6位/19市町)	20	15
特定保健指導実施率	70.5% (2位/19市町)	59.1% (5位/19市町)	20	15
メタボ減少率	-4.1%	-3.7%	20	0
がん検診受診率(平均)	—	12.10%	10	0
歯科検診実施	—	取組なし	10	0
糖尿病重症化予防の取組	—	取組あり	40	40
個人への情報提供	—	取組あり	40	40
重複服薬者に対する取組	—	取組なし	10	0
後発医薬品使用割合	—	取組あり	30	16

図表9-1(P.66)

【順位】13位/19市町(県内)
547位/1,741市町村(全国)
【交付額】436万円

糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進(H28～)

「糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定締結(H28.3月)」
日本医師会・日本糖尿病対策推進会議・厚生労働大臣

特定健康診査受診者における有所見率と、保健指導実施者における改善率

年度	糖尿病		高血圧		脂質異常症		メタボリックシンドローム		
	有所見率	改善率	有所見率	改善率	有所見率	改善率	該当者	予備群	改善率
H25	5.5%	—	4.8%	—	3.6%	—	15.8%	10.9%	25.3%
H28	5.3%	30.4%	4.7%	46.2%	3.2%	54.5%	17.5%	9.9%	23.3%

図表5-23、5-24、5-26(P.22-25)

重症化予防対象者

健診受診者のうち重症化予防対象者	対象者(Aに対する割合)		
	全受診者2,976人(J)	未治療 K(K/J)	治療中 L(L/J)
重症化予防対象者(実人数)	A(A/J)	852人(28.6%)	286人(9.6%) K/B-(未治療) / L/B-I(治療中)
メタボリックシンドローム	B(B/A)	521人(61.2%)	100人(19.2%) 421人(80.8%)
Ⅱ度以上高血圧	C(C/A)	142人(16.7%)	100人(70.4%) 42人(29.6%)
HbA1c 6.5%以上(治療中7.0%以上)	D(D/A)	160人(30.7%)	87人(54.4%) 73人(45.6%)
LDL-cho 180mg/dl以上	E(E/A)	95人(18.2%)	84人(88.4%) 11人(11.6%)
中性脂肪 300mg/dl以上	F(F/A)	97人(18.6%)	74人(76.3%) 11人(11.3%)
慢性腎臓病(CKD)	尿蛋白 G(G/A)	19人(3.7%)	2人(10.5%) 17人(89.5%)
	eGFR H(H/A)	79人(15.2%)	23人(29.1%) 56人(70.9%)
心房細動	I(I/A)	5人(1.0%)	1人(20%) 4人(80%)

図表6-1(P.32)

中長期目標疾患における患者発生状況、新規患者数(患者千人対)

年度	虚血性心疾患			脳血管疾患			糖尿病性腎症		人工透析	
	全体	狭心症	心筋梗塞	全体	脳梗塞	脳出血	患者数(率)	新規患者数	患者数(率)	市全体患者数
	患者数(率)	新規患者数	新規患者数	患者(率)	新規患者数	新規患者数	患者数(率)	新規患者数	患者数(率)	患者数
H25	444人(4.8%)	7.201	3.286	375人(4.0%)	4.694	3.871	97人(1.04%)	1.926	23人(0.2%)	26人
H28	364人(4.1%)	4.333	0.203	278人(3.1%)	1.770	0.448	84人(0.94%)	0.305	15人(0.2%)	26人

図表5-8、5-9(P.14)、図表5-12、5-13(P.17)、図表5-20、5-21、5-22(P.21-22)

短期目標疾患における患者発生状況、新規患者数(患者千人対)

年度	糖尿病		高血圧		脂質異常症	
	患者数(率)	新規患者数	患者数(率)	新規患者数	患者数(率)	新規患者数
H25	1,069人(11.5%)	36.827	1,741人(18.7%)	12.837	1,313人(14.1%)	13.539
H28	949人(10.6%)	10.457	1,733人(19.4%)	12.269	1,373人(15.3%)	11.210

図表5-23(P.22)、図表5-24(P.23)、図表5-25(P.24)

特定健康診査未受診者の状況

年度	受診率	未受診者の状況	
		治療中	健診・治療なし
H25	47.1%	1,838人(28.8%)	1,548人(24.3%)
H28	47.9%	1,979人(32.6%)	1,242人(20.5%)

図表5-28(P.26)

【第1期の評価と、第2期の方向性】

- ・虚血性心疾患、脳血管疾患、人工透析各指標において、その発生率が横ばいから減少傾向にあることから、医療費適正化に向けて一定の効果があったと考えます。
- ・糖尿病、高血圧については今後、更に積極的な介入を行うことで、重症化予防を始めていく必要があります。→【重点項目】糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施、高血圧の重症化予防